



R5. 4. 17

あったかいんだからあ 



【6年生 学級通信より抜粋】

入学式準備、入学式当日、1年生入学後のお世話など、子どもたちはとても張り切って取り組んでいます。1年生のためにと、心を込めて行動する姿が本当にステキです。頼もしい6年生です。

● 六年児童作文紹介

ぼくは、一年生の入学式で、花のアーチを持つ役割になりました。

入学式準備の時に、一年生が気持ちよくむかえられるように棒の高さに気を付けました。

入学式の最初に校長先生の話を六年生らしい態度で聞けたと思いました。その後、ついに一年生をむかえる時がやってきて、わくわくしました。一年生は、小さくてとても可愛かったです。自分にもこんな時期があったのだと思いました。ぼくが、一年生だった時は六年生をお手本にしていたので、次は自分がお手本になれるようにがんばっていききたいと思います。

わたしは、入学式の前に新一年生にランドセルの置き方やトイレの場所を教えました。わたしは、小さい子のお世話が好きなのでとても楽しかったです。みんなお母さんと離れるのはドキドキしたり、不安だったりしていても、わたしたちの言うことをよく聞いてくれていたので、よかったです。

読み聞かせの本などを選ぶ時も、これはおもしろいじゃないのか、意味がわかるのかいろいろ考えて決めました。わたしたちが一年生の時とは違うやり方だけど、一年生を笑わせて安心させられたと思います。

六年生は学校のリーダーとして、みんなをまとめたり、困っていたら声をかけたりして、優しい上宇部小学校にしたいです。

